



印刷管理 SaaS

インストールおよび構成ガイド

内容

概要.....	4
展開の準備状況チェックリスト.....	5
ソリューションとプリントリリースドライバをインストールおよび設定する.....	6
ソリューションをインストールおよび設定する.....	6
プリントリリースドライバをインストールおよび設定する.....	8
Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスする.....	12
Lexmark 印刷管理クライアントを使用する.....	13
Lexmark 印刷管理クライアントをインストールする.....	13
Lexmark 印刷管理クライアントの印刷キューを作成する.....	14
Lexmark 印刷管理クライアント構成ファイルの概要.....	15
Lexmark 印刷管理クライアントにおける SSL 証明書の概要.....	16
Lexmark 印刷管理クライアントをアンインストールする.....	16
プリントリリースを使用する.....	18
プリントリリース設定を構成する.....	18
印刷代理人を追加する.....	18
印刷キューを表示および管理する.....	18
ユーザーロールについて.....	19
ドキュメントアカウントを使用する.....	21
ドキュメントアカウント設定を構成する.....	21
ユーザーの数量制限を設定する.....	21
グループを追加する.....	21
ジョブ概要を表示する.....	22
ジョブレポートを生成する.....	23
ジョブレポートをエクスポートする.....	24
監査ログを生成する.....	25
システムを管理する.....	26
ユーザーを追加する.....	26
診断テストを実行する.....	26

問題に対処する	28
アプリケーションをインストールできない.....	28
ジョブがプリントリリースキューに表示されない.....	28
印刷ジョブの読み込みに時間がかかる.....	29
Mac ワークステーションの使用時に LPMC に接続できない.....	29
通知	30
索引	37

概要

Lexmark™ 印刷管理 SaaS では、便利な印刷オプションを備えたプリントリリーステクノロジーが提供されます。また、ドキュメント出力の管理と追跡を組織全体で行うためのフレームワークを使用することで、クラウドコンピューティングの機能と利点が最大限発揮されます。このソリューションは、Lexmark によって維持および監視されるサーバーからホストされるクラウドサービスです。これにより、印刷ジョブを送信するためにコンピュータにローカルで特定のアプリケーションをインストールする必要がなくなります。ユーザーは、印刷ジョブをどこからでも送信でき、サポートされている Lexmark またはサードパーティのどのデバイスからでも安全にリリースできます。

このソリューションは、以下の基本機能により構成されています。

- **プリントリリース** - ドキュメントをクラウドベースの印刷キューに送信し、接続されたプリンタから印刷ジョブをリリースすることができます。会社のバッジまたはユーザーおよびパスワードを使用して、印刷ジョブをリリースすることができます。プリントリリースの使用により、印刷ジョブの数に対する意識が高くなり、不要な印刷ジョブによる無駄が排除されます。
- **ドキュメントアカウント** - システムに送信されたすべての印刷ジョブのレポートを表示およびエクスポートすることができます。プリンタで実行されるコピー、スキャン、Eメール、FTP および Fax ジョブを監視することもできます。

このソリューションでは、Lexmark 印刷もサポートされ、印刷ニーズに対する柔軟性が向上します。

このガイドは、組織で印刷管理のインストールおよび管理を担当する管理者およびヘルプデスクユーザー向けに書かれています。

エンドユーザー向けのドキュメントについては、『ユーザーズガイド』を参照してください。

展開の準備状況チェックリスト

以下の項目について確認してください。

- ソリューションのインストールと構成を行う Lexmark Virtual Solution Center (VSC) へのアクセス権限を持っている。
- プリンタが Embedded Solutions Framework (eSF) バージョン 2.0 以降をサポートしている。
- ソリューションをインストールするプリンタの IP アドレスまたはホスト名を知っている。
- Windows®、Mac、Linux オペレーティングシステム用の最新の Lexmark ユニバーサルプリンタドライバ (UPD) をダウンロードしている。詳細については、Lexmark の営業担当者にお問い合わせください。

Lexmark 印刷管理クライアント (LPMC) のシステム要件

メモ: LPMC は、Windows および MAC オペレーティングシステムでのみ使用できます。

- 使用可能なオペレーティングシステム:
 - Windows Vista® 以降
 - Mac OS X 10.11、10.10、または 10.9
- コンピュータに以下のものが装備されている。
 - 最低でも 1 GHz 32 ビットまたは 64 ビットプロセッサ
 - 最低でも 1 GB (32 ビットオペレーティングシステム) または 2 GB (64 ビットオペレーティングシステム) の RAM
 - 最低でも 20 GB のハードディスク容量
 - 最低でも 100Mbps のネットワーク速度
 - ネットワーク名の解決 (DNS または WINS)

メモ:


- 外部 DNS の代わりにローカルホストファイルを使用できます。
- 他のネットワークシステムのサポートについては、システム管理者にお問い合わせください。

- コンピュータに Microsoft® .NET Framework 4.0 (フルバージョン) をインストールしている。

ソリューションとプリントリリースドライバをインストールおよび設定する





ソリューションをインストールおよび設定する

VSC からソリューションをインストールして構成します。VSC の使用の詳細については、『Lexmark Virtual Solution Center User's Guide (Lexmark 仮想ソリューションセンターユーザーズガイド)』を参照してください。


- 1 Web ブラウザから vsc.lexmark.com に移動します。
- 2 認証資格情報を入力して、[ログイン]をクリックします。
- 3 [展開]セクションで[新規展開]をクリックします。
- 4 ユーザーの場所を選択します。
 - a [使用できるユーザーの場所]リストで、ユーザー名の横にある  をクリックします。
 - b 必要な場合は、アクティブ化コードを入力します。
 - c 展開する場所を選択します。


メモ:

- リストが空の場合、ユーザーまたは場所を追加します。
- 展開用に選択できる場所は 1 つだけです。

- 5  をクリックします。
- 6 展開するソリューションを選択します。
 - a [使用できるソリューション]リストで、[トラッキングとアカウントिंग]をクリックします。
 - b [Lexmark プリントリリース SaaS(待ち受け画面あり)]または[Lexmark プリントリリース SaaS(待ち受け画面なし)]をクリックします。
 - c ソリューションの横にある  をクリックします。
- 7  をクリックします。
- 8 ソリューションを展開するプリンタを追加します。
 - a [IP アドレス/ホスト名]フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
 - b  をクリックします。

メモ:

- 展開できるプリンタは 50 台までです。
- ソリューションを展開する IP アドレスまたはホスト名が記述された .csv ファイルをインポートするには、 をクリックします。

- 9  をクリックします。

10 Lexmark 印刷リリースクラウドを構成します。

a アプリケーションリストから [Lexmark 印刷リリースクラウド] を選択します。

b [設定を構成] を選択して、以下の設定を構成します。

- [プリントリリースアイコンの表示テキスト] - プリンタのホーム画面のアプリケーションアイコンの上に表示されるテキストを入力します。
- [プリントリリースアイコン] - プリンタのホーム画面のアプリケーションアイコンを表わす新しい画像ファイル。
- [プリントリリースアイコン(押したとき)] - アプリケーションアイコンを押したときに表示される新しい画像ファイル。
- [削除の確認画面を表示] - このオプションを選択すると、確認画面が表示されます。
- [ジョブコスト見積りを有効化] - このオプションを選択すると、選択されたジョブのコストが現地通貨で表示されます。
- [ページ当たりコスト(モノクロ)] - モノクロ 1 ページ当たりのプリンタコストを、現地の通貨と小数点記号の表記方法で入力します。通貨記号は入れないでください。
- [ページ当たりコスト(カラー)] - カラー 1 ページ当たりのプリンタコストを、現地の通貨と小数点記号の表記方法で入力します。通貨記号は入れないでください。
- [ネットワークタイムアウト] - アプリケーションによるネットワークコールすべてにタイムアウト(秒)をセットします。
- [このアプリケーションの基本ログを有効にする] - このオプションを選択すると、このアプリケーションの概要レベルでのログが有効になります。
- [このアプリケーションの詳細ログを有効にする] - このオプションを選択すると、このアプリケーションの詳細レベルでのログが有効になります。

11 クラウド認証クライアントを構成する

a アプリケーションリストから、[クラウド認証クライアント] を選択します。


b [設定を構成] を選択して、以下の設定を構成します。

- [リリース & 追跡サーバーのアドレス] - リリース & 追跡サーバーを示す Web 構成設定 URL を入力します。たとえば、「<https://isp.lexmark.com/<companyID>>」と入力します。「<companyID>」は、会社に割り当てられた固有の名前または ID です。
- [リリース & 追跡 SSL 証明書] - サーバーからの SSL 証明書を検索して、安全な接続を確立します。証明書を入手する詳細については、管理者にお問い合わせください。
- [アプリケーションのアクセスポリシー] - 認証サーバーが停止しているかどうかに関係なく、ユーザーに各種アプリケーションの実行を許可するか否かを選択します。この機能を無効にするには、[失敗] を選択します。
- [第 1 認証トークン] - ユーザーがサーバーに対して自分自身を認証するため提供する第 1 の ID として、[ユーザー ID] または [カード] を選択します。
- [第 2 認証トークン] - ユーザーがサーバーに対して自分自身を認証するため提供する第 2 の ID として、[パスワード] を選択します。この機能を無効にするには、[なし] を選択します。

メモ: 第 1 認証トークンおよび第 2 認証トークンの場合、(1)[ユーザー ID]と[パスワード]、および(2)[カード]と[なし]のみが、クラウド認証の有効なトークンペアです。このほかの組み合わせでは、すべてエラーが返されます。

- [代替認証を有効化] - 認証の代替方法としてカードユーザーが自分のユーザー名およびパスワードを入力できるようにするには、この設定をオンにします。
- [自動登録を有効化] - プリンタにより、システムに含まれないユーザーが自動的に登録されるようにするには、この設定をオンにします。

- 12 選択したソリューションによっては、背景と待ち受け画面を構成します。
- a アプリケーションリストから、[背景と待ち受け画面]を選択します。
 - b [設定を構成]を選択して、以下の設定を構成します。
 - [有効] - オンにすると、プリンタの待ち受け画面が有効になります。
 - [アイドル画面のテキスト] - 「バッジをリーダーに通してください」と入力します。
 - [テキストの場所] - [下]を選択します。
 - [開始時刻] - [0]に設定します。
 - [画像間隔] - 間隔の時間はそのままにします。

13  をクリックします。

- 14 以下のことを確認します。
- ページの上部にユーザーの場所が表示されます。
 - ソリューションは[選択されたソリューション]一覧に表示されます。
 - プリンタは[選択されたデバイス]一覧に表示されます。

15  をクリックして、[展開]概要画面を確認します。

16 [終了]をクリックします。

メモ: システムへのアクセスにバッジを使用している場合、カードリーダードライバがプリンタにインストールされていることを確認してください。

プリントリリースドライバをインストールおよび設定する

コンピュータにログインするときは、プリントリリース用の会社 ID を使用してください。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

プリンタドライバをインストールする(Windows オペレーティングシステム)

- 1 コンピュータから、プリンタドライバインストールファイルを実行します。
 - a [展開]を選択し、[インストールソフトウェアを開始します]チェックボックスをオフにします。
 - b UPD ファイルへのパスをコピーします。

メモ: パスを変更する場合は、UPD ファイルを保存するフォルダを参照して指定します。
 - c [インストール]をクリックし、コンピュータ画面上の指示に従います。
- 2 デバイスおよびプリンタフォルダを選択し、プリンタを追加します。
- 3 [プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスで、以下の手順に従います。

Windows 8 以降の場合

- a [探しているプリンタはこの一覧にはありません]を選択します。
- b [その他のオプションでプリンタを検索]ダイアログボックスで、[共有プリンタを名前を選択する]を選択します。
- c 印刷キューに URL を入力します。

Windows 7 または Windows Vista の場合

- a [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します] > [探しているプリンタはこの一覧にはありません]の順にクリックします。
- b [プリンタ名または TCP/IP アドレスでプリンタを検索]ダイアログボックスで、[共有プリンタを名前を選択する]を選択します。
- c 印刷キューに URL を入力します。

URL には、以下のいずれかが含まれている必要があります。

- `https://<regionID>.lsp.lexmark.com/classes/<companyID>.saas`
- `http://<regionID>.lsp.lexmark.com/classes/<companyID>.saas:443`

ここで、<regionID> はデータセンター、<companyID> は会社に割り当てられた固有の名前または ID です。

- 4 ソフトウェアのインストールを求められた場合は、[ディスク使用]を選択します。
- 5 プリンタドライバの .inf ファイルを参照します。
- 6 コンピュータの画面に表示される手順に従います。
- 7 インストール後、プリンタ設定を変更します。
 - a プリンタを右クリックして、[プリンタのプロパティ]または[プロパティ]をクリックします。
 - b [ポート]タブで、[双方向サポートを有効にする]をオフにします。
 - c [設定]タブで[プリンタから設定更新]をオフにし、[設定オプション]セクションですべてのオプションを選択します。
 - d 変更を適用します。

プリンタドライバをインストールする (Mac オペレーティングシステム)

- 1 Lexmark Mac UPD 1.0.50 をダウンロードします。

メモ: 詳細については、Lexmark の営業担当者に問い合わせてください。
- 2 コンピュータから、インストーラファイルを実行します。
- 3 [展開]を選択し、[インストールソフトウェアを開始します]チェックボックスをオフにします。
- 4 UPD ファイルへのパスをコピーします。

メモ: パスを変更する場合は、UPD ファイルを保存するフォルダを参照して指定します。
- 5 [インストール]をクリックし、コンピュータ画面上の指示に従います。

印刷キューを作成する (Mac オペレーティングシステム)

作業を開始する前に、お使いのコンピュータに Mac 用のユニバーサルレーザープリンタドライバがインストールされていることを確認してください。適切なプリンタドライバを入手するには、Lexmark の担当者に連絡してください。

メモ: この機能は、Mac OS X バージョン 10.6 以降にのみ適用されます。

- 1 アップルメニューの「システム環境設定」で、プリンタフォルダを開きます。
- 2 [+]をクリックします。必要に応じて、ロックアイコンをクリックし、認証資格情報を入力して、ボタンを有効にします。
- 3 [IP]アイコンをクリックします。
- 4 [プロトコル]メニューで[Internet Printing Protocol (IPP)]を選択します。

- 5 [アドレス]フィールドに「<regionID>.lsp.lexmark.com: 443」と入力します。<regionID> は、会社に割り当てられたデータセンターです。
- 6 キューフィールドで「/classes/<companyID>.saas」と入力します。<companyID> は、会社に割り当てられた固有の名前または ID です。
- 7 [名前]フィールドに、キューの名前を入力します。
- 8 [プリント手段]メニューで、[プリンタソフトウェアを選択]を選択します。
- 9 [プリンタソフトウェア]ダイアログで、ユニバーサルレーザープリンタドライバを選択し、[OK]をクリックします。
- 10 インストール済みプリンタのオプションの[設定]ダイアログで、[両面]メニューから[インストール済み]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。

メモ:

- Mac OS X バージョン 10.5 (PowerPC) の印刷キューを作成する場合、Apple 提供の内蔵ドライバを使用できません。ただし、このドライバを使用すると、ドキュメントアカウント機能が制限されます。詳細については、Lexmark の営業担当者に問い合わせてください。
- CUPS バージョン 1.5.2 のバグのため、IPP を使用する前に、コンピュータを Mac OS X バージョン 10.7.4 にアップデートしてください。

プリンタドライバをインストールする (Linux オペレーティングシステム)

- 1 プリンタドライバをダウンロードします。
- 2 端末から、パッケージファイルを展開します。「`uncompress PPD-Files-LMUD2.tar.Z`」と入力します。
- 3 ディレクトリでファイルを展開します。「`tar-xvf PPD-Files-MNUD2.tar`」と入力します。
- 4 `ppd_file` ディレクトリを変更します。「`cd ppd_files`」と入力します。
- 5 PPD ファイルをインストールします。
ルートユーザーとしてログインし、インストールスクリプトを実行します。「`./install_ppd.sh`」と入力します。
詳細については、「Readme-CUPS」ファイルを参照してください。

メモ: その他の CUPS インストールの場合は、適切な PPD ファイルを CUPS モデルディレクトリにコピーし、CUPS を再起動します。バージョン 1.4 以降の CUPS の場合、`ppd_Files/GlobalPPD_1.4` にある PPD ファイルを使用してください。バージョン 1.4 より前の CUPS の場合、`ppd_Files/GlobalPPD_1.2` にある PPD ファイルを使用してください。

CUPS Web インターフェイスを使用して Linux オペレーティングシステムで印刷キューを作成する



- 1 Web ブラウザを開き、URL フィールドに「`http://localhost: 631`」と入力します。
メモ: 「`http://127.0.0.1: 631`」と入力することもできます。
- 2 [Administration] ページにアクセスして、[Add Printer] をクリックします。
- 3 プロンプトが表示されたら、ルートおよびルートのパスワードを入力します。

メモ: SUSE システムにログインするには、`lppasswd` でアカウントを作成し、ルートではなくこのアカウントを使用します。

- 4 [Other Network Printer]セクションで、ネットワークプリンタ接続に[Internet Print Protocol (http)]を選択し、[Continue]をクリックします。
- 5 URL を入力します。
メモ:
 - CUPS バージョン 1.5.2 以降の場合、
「`https://<regionID>.lsp.lexmark.com/classes/<companyID>.saas`」と入力します。
<regionID> はデータセンターで、<companyID> は会社に割り当てられた固有の名前または ID です。
 - CUPS バージョン 1.5.2 より前の場合は、「`http://<regionID>.lsp.lexmark.com:443/classes/<companyID>.saas`」と入力します。<regionID> はデータセンター、<companyID> は会社に割り当てられた固有の名前または ID です。CUPS のバージョンは、ユーザーが CUPS 設定 Web ページを起動すると表示されます。
- 6 [Continue]をクリックします。
- 7 キューの名前を入力して、[Continue]をクリックします。
- 8 [Make]リストで[Lexmark]を選択し、[Continue]をクリックします。
- 9 [Model]リストで、ユニバーサルレーザープリンタドライバを選択します。
- 10 [Add Printer]をクリックします。

モバイルマシンに Lexmark 印刷をインストールし、印刷キューを作成する

詳細については、『Lexmark Mobile Print User's Guide (Lexmark モバイル印刷ユーザズガイド)』を参照してください。

- 1 モバイルデバイスに応じて、App Store からアプリケーションをダウンロードするか、Google Play™ ストアアプリケーションをダウンロードします。
- 2 権限を付与します。
- 3 インストール後、Lexmark 印刷アプリケーションを開きます。
- 4 アプリケーションのホーム画面で、[設定] > [デバイスを管理]の順にタッチします。
- 5 [デバイスを追加] または  をタッチします。
- 6 次のいずれかの手順に従います。
 - [ネットワークアドレス]をタッチして、[アドレス]フィールドにサーバーの URL を入力します。たとえば、「`https://lsp.lexmark.com/<companyID>`」と入力します。<companyID> は会社の ID です。
 - [QR コード]をタッチし、画面の境界線内に URL の QR コードが入るようにします。
- 7 [ログイン]または  をタッチします。
- 8 資格情報を入力し、[ログイン]をタッチします。

メモ:

- 一部の Lexmark 印刷管理サーバーでは、サフィックス「/mobile」を URL の後に付ける必要があります。サーバーの URL を検証するには、管理者に問い合わせてください。
- サーバーを追加する場合、検証をスキップできます。ただし、サーバーを使用する前にサーバーを検証する必要があります。

Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスする

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドで「<https://lsp.lexmark.com/<companyID>>」と入力します。
「<companyID>」は、会社に割り当てられた固有の名前または ID です。
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[サインイン]をクリックします。

メモ: 通常、Web ポータルのユーザー名には、ユーザーの E メールアドレスが使用されます。

パスワードを変更する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 [パスワード再設定を要求する]をクリックします。
- 3 [パスワード再設定]ページで、ユーザー名を入力し、確認のためにもう一度ユーザー名を入力します。
- 4 [パスワード再設定を要求する] > [OK]の順をクリックします。

パスワード再設定の手順が記載された E メールが、ユーザーの E メールアドレスに送信されます。

Lexmark 印刷管理クライアントを使用する

Lexmark 印刷管理クライアント(LPMC)は、印刷ジョブを安全にリリースするためにクライアントコンピュータで展開するソフトウェアパッケージです。LPMC は、印刷スプーラから印刷ジョブをキャプチャし、必要な場合はそれらを暗号化します。印刷ジョブは、プリントリリース対応のプリンタからリリースされるまで LPM SaaS サーバーに保存されます。

Lexmark 印刷管理クライアントをインストールする

Windows オペレーティングシステムの場合

- 1 インストールパッケージを保存したフォルダに設定ファイルをコピーし、必要な場合は変更します。詳細については、[「Lexmark 印刷管理クライアント構成ファイルの概要」、15 ページ](#) を参照してください。
- 2 次のいずれかを実行します。
 - パッケージを保存したフォルダでインストールパッケージをダブルクリックします。
 - コマンドプロンプトで、「`msiexec /i lpmc.msi`」と入力し、Enter キーを押します。
- 3 画面の指示に従います。
- 4 インストールが完了したら、次の手順を実行します。

LPMC がインストールされているかどうかを確認する

- a オペレーティングシステムの[プログラムと機能]フォルダに移動します
- b Lexmark 印刷管理クライアントを探します。

必要なサービスがインストールされて実行されているかどうかを確認します。

- a コマンドプロンプトで、「`services.msc`」と入力し、Enter キーを押します。
- b 以下のサービスが実行されているかどうかを確認します。
 - Lexmark プリントキャプチャサービス
 - Lexmark プリントリリースサービス

メモ:

- 実行可能ファイルは、Program Files フォルダに保存されます。
- 構成およびログファイルは「`%allusersprofile%\LPMC`」フォルダに保存されています。
- LPMC プリントポート 9168 および IP アドレス 127.0.0.1 は標準設定で作成されます。

Mac オペレーティングシステム

メモ: LPMC をインストールする前に、Lexmark Mac UPD がインストールされていることを確認します。詳細については、[「プリンタドライバをインストールする\(Mac オペレーティングシステム\)」、9 ページ](#) を参照してください。

- 1 インストールパッケージを保存したフォルダに設定ファイルをコピーし、必要な場合は変更します。詳細については、[「Lexmark 印刷管理クライアント構成ファイルの概要」、15 ページ](#) を参照してください。
- 2 次のいずれかを実行します。
 - PKG ファイルをダブルクリックします。
 - 端末から、インストールパッケージを保存した場所に移動し、`sudo ./install.sh` を実行します。

- 3 画面の指示に従います。
- 4 インストールが完了した後、アクティビティモニタから必要なサービスが実行されているかどうかを確認します。
 - **LPMCapture** - Lexmark プリントキャプチャサービス
 - **LPMRelease** - Lexmark プリントリリースサービス
 - **LPMDeleteJobTracker** - LPM 削除済みジョブトラッカーサービス
 - **LPMApp** - LPM ユーザーレベルバックグラウンドアプリケーション

メモ:

- 端末を使って、インストールが正常に終了したかどうかをチェックするには、`ps -e1 | grep LPM`を実行します。
- インストール後、実行可能ファイル、configuration.xml ファイル、および SSL 証明書が「/Library/Lexmark/LPMC」フォルダに保存されます。デフォルトでは、ログファイルは「/var/tmp」に lpmc.log として保存されます。

Lexmark 印刷管理クライアントの印刷キューを作成する

開始する前に、オペレーティングシステムに適したプリンタドライバをインストールしていることを確認します。ドライバは、http:

Windows® オペレーティングシステムの場合

- 1 コンピュータから、デバイスおよびプリンタフォルダを選択します。
- 2 ローカルプリンタを追加します。詳細については、オペレーティングシステムのヘルプ情報を参照してください。
- 3 プリンタポートを選択するよう求めるメッセージが表示されたら、**[LPM サーバーポート(標準 TCP/IP ポート)]**を選択します。
- 4 プリンタドライバのインストールを求められた場合は、**[Lexmark ユニバーサルプリンタドライバ(UPD)]**を選択します。
- 5 コンピュータの画面に表示される手順に従います。
- 6 インストール後、作成された印刷キューのポートが、LPMC 構成ファイルに表示される **LoopbackPort** 設定と同じであることを確認します。
 - a 印刷キューの**[プリンタのプロパティ]**を起動します。
 - b **[ポート]**タブを選択し、**[LPMC SaaS プリンタポート]**を選択します。
 - c **[ポートの設定]**をクリックします。
 - d ポート番号を確認します。

Mac オペレーティングシステム

- 1 コンピュータから**[システム環境設定]**に移動し、**[プリンターとスキャナ]**をクリックします。
- 2 **[+]**をクリックし、**[追加]**ウィンドウから**[IP]**をクリックします。
- 3 **[アドレス]**フィールドに「**127.0.0.1: 9169**」と入力します。
- 4 **[プロトコル]**メニューで**[HP Jetdirect - Socket]**を選択します。
- 5 **[名前]**フィールドに、印刷キューの一意の名前を入力します。

6 [使用]メニューで、[Lexmark Generic Laser Printer Mono]または[Lexmark Generic Laser Printer Color]を選択します。

7 [追加]をクリックします。

Lexmark 印刷管理クライアント構成ファイルの概要

ロガー

設定	標準設定	説明
LogFilePath	Windows オペレーティングシステムの場合 c: \ProgramData\LPMC\lpmc.log Mac オペレーティングシステム /var/tmp/lpmc.log	ログファイルが保存される場所のパス。
LoggingEnabled	false	true に設定されている場合、LPMC イベントはロギングされます。debug に設定されている場合、しより詳細な情報がロギングされます。

CaptureSettings

設定	標準設定	説明
LoopbackPort	9169	キャプチャサービスが印刷ジョブを受信するポート。別のポートを使用するには、印刷キューが使用するポートが変更されていることを確認します。
PrintJobFileNameFormat	%d_%i.ps	キャプチャサービスが印刷ジョブを保存するために使用するファイル名の形式。%d は、ジョブが印刷される時間で、%i は現在のティック数です。 ファイル名の一部として次の値を使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • %u – ユーザー名 • %pd – プリントドライバ名 • %pq – 印刷キュー名

ServerSettings

設定	標準設定	説明
ServerIP	lsp.lexmark.com/lexmark	Lexmark 印刷管理 SaaS アプリケーションプログラムインターフェイス (API) の URL
ServerPort	443	Lexmark 印刷管理 SaaS サーバーに接続するとき、取り込みサービスが通信するポート。

IDPServerSettings

設定	標準設定	説明
ServerIP	idp.iss.lexmark.com	IDP サーバーの URL
ServerPort	443	IDP サーバーに接続するとき、取り込みサービスが通信するポート

LPM SaaS 導入用構成ファイルの例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<Configuration xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
```

```
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
  <Logger>
    <LogFilePath>C:\ProgramData\LPMC\lpmc.log</LogFilePath>
    <LoggingEnabled>true</LoggingEnabled>
  </Logger>
  <LPMServerSettings>
    <CaptureSettings>
      <LoopbackPort>9168</LoopbackPort>
      <PrintJobFileNameFormat>%d_%i.prn</PrintJobFileNameFormat>
    </CaptureSettings>
    <ClientSettings>
    </ClientSettings>
    <ServerSettings>
      <ServerIP>lsp.lexmark.com/lexmark</ServerIP>
      <ServerPort>443</ServerPort>
    </ServerSettings>
    <IDPServerSettings>
      <ServerIP>idp.iss.lexmark.com</ServerIP>
      <ServerPort>443</ServerPort>
    </IDPServerSettings>
  </LPMServerSettings>
</Configuration>
```

Lexmark 印刷管理クライアントにおける SSL 証明書の概要

LPMC は、HTTPS プロトコルを使用する接続を受け入れて確立するセキュリティで保護されたサーバーとして機能します。LPMC では、通常のネットワークに接続するデータ暗号化が使用できます。SSL 接続を受け入れるには、サーバーの ID を確認し、暗号化の基盤としての役割を果たすために、LPMC は証明書をセキュリティで保護する必要があります。

各証明書は、証明書が識別する対象を指定します。たとえば、LPMC が実行されているワークステーションは、「John-PCXP」のように「ワークステーション-名前」または「localhost」などより一般的な名前でも定義できます。「Localhost」は、127.0.0.1 ネットワークアドレスのエイリアスである予約名です。

証明書が作成されると、ワークステーションに追加され、マシンにログインするすべてのユーザーが使用できるようになります。また、LPMC は証明書を適切なネットワーク接続にバインドし、構成ファイルで定義されたポートを使用します。

インストール後に構成されたポートが変更された場合、接続を維持するために、SSL 証明書を新しいポート番号に再バインドします。

メモ: 証明書の作成とバインドは LPMC のインストール時に行われます。

Lexmark 印刷管理クライアントをアンインストールする

Windows オペレーティングシステムの場合

- 1 コンピュータから、[プログラムと機能]フォルダに移動します。
- 2 [Lexmark 印刷管理クライアント]を右クリックし、[アンインストールと変更]をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

Mac オペレーティングシステム

- 1 端末から、「/Library/Lexmark/LPMC」に移動します。
- 2 次のいずれかを実行します。
 - **sudo uninstall.sh** を実行して、「/Library/Lexmark/LPMC」内のすべてのファイルを削除します。
 - **sudo uninstall.sh all** を実行して、「/Library/Lexmark/LPMC」内のファイルと、「/var/tmp/LPMC」内の印刷ジョブをすべて削除します。

プリントリリースを使用する

プリントリリース設定を構成する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[プリントリリース]上にマウスポインタを移動し、[アドミン設定]をクリックします。
- 3 以下のプリントリリース設定をカスタマイズします。
 - [次より古い未リリースのドキュメントを削除:] - システムからドキュメントを削除する前に、一度も印刷されていないドキュメントをサーバーがどのくらいの期間保持するかを選択します。
 - [次より古いリリース済みドキュメントを削除:] - システムからドキュメントを削除する前に、リリース済みのドキュメントをサーバーがどのくらいの期間保持するかを選択します。
- 4 [保存]をクリックします。

印刷代理人を追加する

管理者によって許可されている場合、自分の印刷代理人を設定および編集することができます。印刷代理人とは、本人の代わりに印刷することを許可されたユーザーです。

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[プリントリリース]上にマウスポインタを移動し、[委任] > [代理人を追加]の順にクリックします。
- 3 [ユーザー名]列で、印刷ジョブの委任先ユーザーの名前を入力するか選択して、[追加]をクリックします。

メモ: 印刷代理人を削除するには、代理人のユーザー名の名前の横にあるチェックボックスを 1 つまたは複数選択し、[代理人を削除]をクリックします。

印刷キューを表示および管理する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[プリントリリース]上にマウスポインタを移動し、[マイ印刷キュー]をクリックします。
- 3 以下の印刷ジョブ情報が表示されます。
 - [ドキュメント] - キューにある印刷ジョブのファイル名が表示されます。
 - [説明] - 印刷ジョブについて追加した情報が表示されます(ある場合)。
 - [ステータス] - 印刷ジョブがリリースできる状態かどうかが表示されます。印刷ジョブの状態は以下のいずれかです。「準備完了」、「処理中」、「プリンタドライバを使用して再送信してください」、「対応していないファイルの種類」。
 - [ソース] - 印刷ジョブがサーバーに送信された方法がアイコンで表示されます。方法には、Web 経由、E メール経由、携帯デバイス経由、コンピュータ経由があります。
 - [アップロード日] - 印刷ジョブが送信された日時が表示されます。
- 4 以下のいずれかの手順を実行します。
 - 印刷キューを追加するには、[ドキュメントを追加] > [ドキュメントを追加]の順にクリックします。ファイルを選択し、[開く] > [完了]の順にクリックします。

メモ:

- コンピュータでドキュメントをクリックして、[ドキュメントを追加]ダイアログボックスにドラッグし、印刷キューに追加することもできます。
- 一度に複数のドキュメントを追加できます。
- 各印刷ジョブの設定を変更するには、変更する印刷ジョブの左隅にある[+]をクリックし、[保存]をクリックします。
- 印刷キュー内のファイルを1つダウンロードするには、[ダウンロード]をクリックします。
- 印刷キューをカスタマイズするには、列のヘッダー上にマウスポインタを移動し、▼をクリックして、ドロップダウンメニューを表示させます。
- 列で項目をソートするには、[昇順]または[降順]を選択します。
- 列を追加または削除するには、[列]を選択し、列の名前の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

ユーザーロールについて

Web ポータルは、通常、ユーザーが認証後にプロフィールに関連するさまざまな設定を調整できるサイトです。ユーザーは、以下のロールのいずれかを割り当てられています。

ユーザー

このロールは、基本権限が付与されています。Web ポータルでは、以下を実行できます。

- 印刷するドキュメントを Web から追加する。
- プリンタドライバ経由以外で送信されたジョブに適用される印刷の標準設定を設定する。
- 印刷キューのドキュメントを表示および管理する。印刷ジョブのソートおよび削除、各印刷ジョブのプロパティの編集、および各印刷ジョブの説明の変更を実行可能です。
- アカウントに関連付けられた印刷統計情報を表示する。
- 特定期間内の自分の印刷ジョブの概要を生成する。

メモ: エンドユーザー向けのドキュメントについては『Lexmark Print Management SaaS User's Guide (Lexmark 印刷管理 SaaS ユーザーズガイド)』を参照してください。

ヘルプデスク

このロールは、社内でサポートサービスを提供するユーザーに与えられます。ヘルプデスクは、すべてのユーザー権限を所有し、以下の操作を実行できます。

- あらゆる印刷キューを表示および操作する。これにより、ユーザーから報告された問題のトラブルシューティングを行うことができます。
- キュー内のあらゆるドキュメントの印刷可能バージョンをダウンロードする。
- 診断テストを実行して、Web ポータルのさまざまなユーザー機能をチェックし、システムが問題なく動作しているかどうかを確認する。

管理者

このロールは、以下の権限のほかに、通常ユーザーロールとヘルプデスクロールが持っているすべての権限とオプションを持っています。

- Lexmark 印刷管理の全般的な属性および標準設定を設定し、会社用にソリューションをカスタマイズする。
- 送信されたドキュメントが印刷可能なジョブとしてシステムに保持される期間を制御する印刷ジョブ保存期間を変更する。

- 会社のニーズに合うようにドキュメントアカウントの設定をカスタマイズする。システムのストレージ容量を解放するためのデータパーシ期間を設定できます。また、オフラインでの使用および操作のために CSV ファイルにデータをエクスポートできます。

ドキュメントアカウントを使用する

ドキュメントアカウント設定を構成する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[アドミン設定]をクリックします。
- 3 [次より古いドキュメントアカウントレコードを削除:]メニューで、システムからレコードを削除する前に、レコードをサーバーがどのくらいの期間保持するかを指定します。
- 4 [保存]をクリックします。

ユーザーの数量制限を設定する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[アドミン設定]をクリックします。
- 3 [個人の数量制限]セクションで、以下の設定を構成します。
 - [ユーザー名] - 数量制限を設定する対象ユーザーのユーザー名を指定します。
 - [数量制限合計] - ユーザーに許可される印刷またはコピーの合計インプレッション数を指定します。
 - [カラーの数量制限] - ユーザーに許可されるカラーの印刷またはコピーの合計インプレッション数を指定します。
- 4 [保存]をクリックします。

メモ:

- ユーザーの数量制限をすべて削除するには、[数量制限を削除]をクリックします。
- ユーザーのグループ数量制限とユーザーの数量制限の両方が設定されている場合、ユーザーの数量制限がグループの数量制限よりも優先されます。

グループを追加する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[グループ] > [新規グループ]の順にクリックします。
- 3 [グループ]フィールドでグループの名前を入力し、[追加]をクリックします。
- 4 [グループメンバー]セクションでグループの名前をクリックし、[メンバーを追加]をクリックします。
- 5 ドロップダウンメニューで、追加するユーザーを入力または選択し、[追加]をクリックします。
- 6 [グループの数量制限]セクションで、以下のグループ数量制限設定をカスタマイズします。
 - [数量制限合計] - グループメンバーが印刷またはコピーできるインプレッションの合計数を入力します。
 - [カラーの数量制限] - グループメンバーがカラーで印刷またはコピーできるインプレッションの合計数を入力します。

メモ: ユーザーのグループ数量制限とユーザーの数量制限の両方が設定されている場合、ユーザーの数量制限がグループの数量制限よりも優先されます。

7 [保存]をクリックします。

グループを変更する

- 1 [グループ]セクションで、変更するグループの名前をクリックします。
- 2 以下のいずれかの手順を実行します。
 - グループ名を変更するには、グループ名をダブルクリックし、新しい名を入力します。
 - グループを削除するには、グループ名の横の[X]をクリックします。
 - グループにメンバーを追加するには、[グループメンバー]セクションで[メンバーを追加]をクリックします。
 - グループからメンバーを削除するには、メンバーユーザー名の横の[X]をクリックします。
- 3 [保存]をクリックします。

ジョブ概要を表示する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[マイ印刷ジョブ]をクリックします。
- 3 以下の印刷ジョブ情報が表示されます。
 - [表示するジョブ] - ページに表示するジョブの数です。
 - [総部数] - 印刷されたすべての印刷ジョブのページ合計数です。

メモ: インプレッションとは、1 枚の用紙の片面のことを指します。1 枚の用紙の片面に複数のページが印刷されている場合、1 つのジョブのインプレッションの総合計が変わります。たとえば、1 枚の用紙の片面に元の原稿の 2 ページが印刷された場合、1 インプレッションと計算されます。
 - [部数] - 印刷された印刷ジョブのページ数です。
 - [デバイスの IP アドレス] - ジョブがリリースされたプリンタの IP アドレスです。
 - [ジョブ名] - 印刷ジョブのファイル名です。
 - [カラー] - ジョブがモノクロで印刷されたかカラーで印刷されたかを示します。
 - [両面印刷] - ジョブが用紙の両面に印刷されたかどうかを示します。
 - [印刷時間] - ジョブがプリンタでリリースされた時刻を示します。
- 4 ジョブの列をカスタマイズするには、列のヘッダー上にマウスポインタを移動し、▼ をクリックして、ドロップダウンメニューを表示させます。
 - 列で項目をソートするには、[昇順]または[降順]を選択します。
 - 列を追加または削除するには、[列]を選択し、列の名前の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

ジョブレポートを生成する

レポートでは、印刷に関して特定期間内に組織全体のユーザーが取った行動の概要が提供されます。ユーザーロールによっては、これらのレポートを使用できない場合があります。詳細については、[「ユーザーロールについて」、19 ページ](#)を参照してください。

個人用ジョブレポートを生成する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[レポート] > [マイドキュメントアカウント概要レポート]の順にクリックします。
- 3 レポートに含めたい印刷アクティビティの開始日と終了日を指定して、[レポートを生成]をクリックします。

メモ:

- 開始日と終了日の間が 90 日以上開かないようにしてください。
- ジョブは、開始日の午前 0 時から終了日の午前 0 時まで実行されたものが計算されます。1 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日と終了日を同じ日に指定しないようにしてください。たとえば、2016 年 6 月 16 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日を「2016/06/16」、終了日を「2016/06/17」に指定します。この設定により、6 月 16 日の午前 0 時から 17 日の午前 0 時までのジョブがレポートに含まれるようになります。

- 4 [PDF をダウンロード]をクリックします。

システム全体のレポートを生成する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 [ドキュメントアカウント]にマウスポインタを移動し、以下のいずれかを実行します。
 - 指定したグループの印刷アクティビティを表示するには、[レポート] > [ドキュメントアカウント概要レポート]の順にクリックします。
 - 指定されたグループのジョブ詳細を表示するには、[レポート] > [印刷ジョブの詳細]の順にクリックします。
 - 指定されたグループのデバイス状況を表示するには、[レポート] > [印刷デバイスアクティビティ]の順にクリックします。
- 3 レポートに含めたい印刷アクティビティの開始日と終了日を指定して、[レポートを生成]をクリックします。

メモ:

- 開始日と終了日の間が 90 日以上開かないようにしてください。
- ジョブは、開始日の午前 0 時から終了日の午前 0 時まで実行されたものが計算されます。1 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日と終了日を同じ日に指定しないようにしてください。たとえば、2016 年 6 月 16 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日を「2016/06/16」、終了日を「2016/06/17」に指定します。この設定により、6 月 16 日の午前 0 時から 17 日の午前 0 時までのジョブがレポートに含まれるようになります。

- 4 [PDF をダウンロード]をクリックします。

月次レポートを生成する

メモ: このレポートは毎月末にのみ生成できます。

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[レポート] > [ダッシュボード月次レポート]の順にクリックします。
- 3 [ダッシュボード月次レポート]セクションで、リストからレポートを選択し、[レポートを生成] > [PDF をダウンロード]の順にクリックします。

生成されたレポートの概要

以下の情報に関するジョブレポートが生成されます。

- [合計] - 接続デバイスから取得した、指定期間内の以下の情報を表示します。
 - ジョブを送信またはリリースしたユーザーの合計数
 - 送信したジョブまたはリリースしたジョブの合計数
 - 印刷またはコピーした部数の合計数
- [ジョブ送信] - 以下の方法を介して送信されたジョブからの部数の合計数を表示します。
 - モバイルデバイス
 - E メール
 - プリンタドライバ
 - Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータル
- [デバイス使用量] - 接続されたデバイスで、コピー（カラーおよびモノクロ）、スキャン、E メール、FAX、FTP、およびその他のジョブの実行により生成された部数の合計数が表示されます。
- [プリントリリース使用量] - 接続されたデバイスでリリースされた印刷ジョブのカラーおよびモノクロの部数の合計数が表示されます。
- [印刷済み部数対削除済み部数] - 以下の比較が表示されます。
 - 送信済みジョブおよび印刷済みジョブからの部数の合計数
 - 印刷前にキューから送信または削除されたジョブからの部数の合計数

ジョブレポートをエクスポートする

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[レポート] > [データエクスポート]の順にクリックします。
- 3 [ドキュメントアカウントデータをエクスポート]セクションで、以下のオプションをカスタマイズします。
 - [レポート] - エクスポートするレポートを指定します。エクスポートできるレポートは、以下のとおりです。
 - [提出済みのジョブ] - キューに送信されたすべての印刷ジョブの情報が表示されます。
 - [デバイスアクティビティ] - 接続されたすべてのデバイスでリリースされたすべてのジョブの情報が表示されます。
 - [開始日] - エクスポートする CSV ファイルに含めるレポートの開始日を指定します。
 - [終了日] - エクスポートする CSV ファイルに含めるレポートの終了日を指定します。

メモ:

- 開始日と終了日の間が 90 日以上開かないようにしてください。
- ジョブは、開始日の午前 0 時から終了日の午前 0 時まで実行されたものが計算されます。1 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日と終了日を同じ日に指定しないようにしてください。たとえば、2016 年 6 月 16 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日を「2016/06/16」、終了日を「2016/06/17」に指定します。この設定により、6 月 16 日の午前 0 時から 17 日の午前 0 時までのジョブがレポートに含まれるようになります。

4 [CSV を生成] > [CSV をダウンロード]の順にクリックします。

監査ログを生成する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[レポート] > [監査ログ]の順にクリックします。
- 3 レポートに含めたい印刷アクティビティの開始日と終了日を指定します。

メモ:

- ログで生成できるジョブレコードは最大 50,000 件です。
- ジョブは、開始日の午前 0 時から終了日の午前 0 時まで実行されたものが計算されます。1 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日と終了日を同じ日に指定しないようにしてください。たとえば、2016 年 6 月 16 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日を「2016/06/16」、終了日を「2016/06/17」に指定します。この設定により、6 月 16 日の午前 0 時から 17 日の午前 0 時までのジョブがレポートに含まれるようになります。

4 [CSV を生成] > [CSV をダウンロード]の順にクリックします。

システムを管理する

ユーザーを追加する

- 1 Web ブラウザから管理者の Web ポータルにアクセスします。
- 2 [ユーザー]タブで[追加]をクリックします。
- 3 以下の設定項目を設定します。
 - [ユーザー ID/E メール] - E メールベースの ID を入力します。例: **MyUser@company.com**。
 - [操作] - ユーザーを管理するために実行されたアクションを入力します。例:「作成」、「更新」、および「削除」。
 - [会社 ID] - ユーザーの Windows ログイン ID を入力します。
 - [名] - ユーザーの名(ファーストネーム)を入力します。
 - [姓] - ユーザーの姓(ラストネーム)を入力します。
 - [パスワード] - ユーザーのパスワードを入力します。
 - [ロール] - システム内でのユーザーのロール(役割)を入力します。ロールには「**ROLE_USER**」、「**ROLE_HELPDESK**」、「**ROLE_ADMIN**」があります。
 - [バッジ ID] - ユーザーのバッジ ID 番号を入力します。この情報は省略可能です。
 - [国] - ユーザーの国を入力します。
 - [場所] - ユーザーの地理的な場所または地域を入力します。この情報は省略可能です。
 - [ホームデータセンター] - ユーザーのホームデータセンターの接頭辞を入力します。
 - [プリントリリース] - プリントリリース機能を有効にします。
 - [E メール有効] - E メールを介した送信ジョブを有効にします。
 - [モバイル有効] - ユーザーのモバイルデバイスを介した送信ジョブを有効にします。
 - [ドキュメントアカウント] - ドキュメントアカウント機能を有効にします。

メモ: どの機能も、有効にする場合は「1」、無効にする場合は「0」に設定します。E メール送信とモバイル送信を有効にするためには、プリントリリースが有効になっている必要があります。

- 4 [ユーザーを追加]をクリックします。

診断テストを実行する

診断ツールを使用すると、管理者やヘルプデスクユーザーは Web ポータルのユーザー機能をテストして、すべての機能が適切に動作していることを確認できます。

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[システム]上にマウスポインタを移動し、[ドキュメントサービスのテスト]をクリックします。
- 3 [テスト開始]をクリックします。

ツールでは、以下の診断プロセスが実行されます。

- テストドキュメントのアップロード
- ドキュメントの印刷オプションの更新
- ドキュメントの印刷オプションの取得
- ドキュメントの内容の取得

- 印刷キューの取得
- テストドキュメントの削除

問題に対処する

アプリケーションをインストールできない

次の手順を 1 つ以上実行します。

プリンタファームウェアとアプリケーションに互換性があることを確認する

ファイブウェアをアップデートするには、VSC にアクセスします。[展開]セクションで、[ファームウェアを更新]をクリックします。詳細については、『Lexmark Virtual Solution Center User's Guide (Lexmark 仮想ソリューションセンターユーザズガイド)』を参照してください。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

ジョブがプリントリリースキューに表示されない

次の手順を 1 つ以上実行します。

印刷ジョブをプリントキューに送信したことを確認します

印刷ジョブを送信するときに使用したユーザーアカウントが、プリントリリース対応のプリンタにログインしているアカウントと同じであることを確認します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コンピュータとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認します。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ファイアウォールの例外を LPMC ポートに追加します

プリンタとワークステーション間の通信をファイアウォールがブロックしていることがあります。Windows オペレーティングシステムを使用しているワークステーションに Windows 用以外のファイアウォールを使用した場合、または Mac オペレーティングシステムを使用しているワークステーションに Mac 用以外のファイアウォールを使用した場合、このようなブロックが発生します。LPMC のデフォルトポートは 9443 です。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

印刷管理の E メールアドレスを確認する

印刷ジョブを E メール経由でまたはドキュメントを E メールに添付して送信する場合は、正しい E メールアドレスに送信してください。この E メールアドレスは、各ユーザーに固有のもので、ユーザーがシステムに追加されるときにそのユーザーに通知されます。例: **MyUser@company.com**。

印刷管理に送信された E メールが処理および検証された後、各ジョブのステータスを示した確認 E メールがユーザーに送信されます。接続または変換に問題がない限り、ドキュメントは、この時点で接続されているデバイスの印刷キューにあり、リリースできます。

印刷管理の サーバーアドレスを確認する

プリンタドライバ経由で印刷ジョブを送信する場合は、プリントリリースキューをインストールする際に印刷管理サーバーに正しい IP アドレスを入力してください。Windows の[プリンタの追加ウィザード]を使用すると、有効な IP アドレスを指定さえすれば、インストールを正常に完了することができます。

- 1 コンピュータで、プリンタフォルダを開きます。
- 2 プリントリリースキューを右クリックして、[プリンタのプロパティ]または[プロパティ]をクリックします。
- 3 [ポート] > [ポートの設定]の順にクリックします。

メモ: [プリンタ名または IP アドレス]フィールドのアドレスが、印刷管理サーバーの正しいアドレスであることを確認します。IP アドレスがわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

印刷ジョブの読み込みに時間がかかる

次の手順を 1 つ以上実行します。

印刷ジョブを含むワークステーションの電源がオンであることを確認する

電源がオフのワークステーションにアプリケーションが接続しようとしている場合があります。アプリケーションは 3 回タイムアウトが発生するまで待ってから、ワークステーションへの接続を停止します。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

Mac ワークステーションの使用時に LPMC に接続できない

次の手順を 1 つ以上実行します。

ネットワークに接続されているコンピュータに、ユーザーがログインしているかどうか確認する

一部の Mac コンピュータは、電源オン前およびユーザーのログイン後は、ネットワークに接続できません。ネットワーク接続は、LPMC に接続されている必要があります。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

通知

版通知

2016年7月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、<http://www.lexmark.com> を参照してください。

© 2016 Lexmark International, Inc.

無断複写・転載を禁じます

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国およびその他の国々での Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Apple、Mac および OS X は、Apple Inc. の商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

米国政府のエンドユーザー

本ソフトウェアプログラムおよび関連文書は、48 C.F.R. 2.101 で定義されている「商品」であり、48 C.F.R. 12.212 または 48 C.F.R. 227.7202 に述べられている「商業用コンピュータソフトウェア」および「商業用コンピュータソフトウェア文書」に該当します。48 C.F.R. 12.212 または 48 C.F.R. 227.7202-1 から 227.7207-4 の規定に従い、米国政府のエンドユーザーは、本商用コンピュータソフトウェアおよび商用コンピュータソフトウェア文書を (a) 商品としてのみ、(b) 本書の条項によりすべての他のエンドユーザーに付与される権利と同一の権利のみとともに取得します。

Open LDAP 2.4.24

本ソフトウェアは、OPENLDAP FOUNDATION およびその貢献者により「現状有姿」で提供されるものであり、商業性や特定目的への適合性に対する保証を含み、またそれらに限定せず、いかなる明示的または黙示的な保証も放棄します。OPENLDAP FOUNDATION、その貢献者、または本ソフトウェアの著作者または所有者は、契約である

うと、厳格な責任があろうと、または(不注意やその他を含む)不法行為であろうと、どのような責任の理論においても、このソフトウェアの使用により発生した、直接的、間接的、偶発的、特殊的、典型的、あるいは、必然的に生じてしまった損害(損害は次の内容を含みますがこれに限定しません。代替品やサービスの調達、使用权、データまたは利益の損失、あるいは商取引の中断)に対し、一切責任を負いません。そのような損害の可能性が示唆されていた場合でも同様です。

OpenLDAP は、OpenLDAP Foundation の登録商標です。

Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All rights reserved. 本ドキュメントを一字一句そのままに複製し頒布することは許可されません。

Portions Copyright 1998-2008 Kurt D. Zeilenga.

Portions Copyright 1998-2006 Net Boolean Incorporated.

Portions Copyright 2001-2006 IBM Corporation.

All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、OpenLDAP Public License が承認した場合のみ許可されます。

Portions Copyright 1999-2008 Howard Y.H. Chu.

Portions Copyright 1999-2008 Symas Corporation.

Portions Copyright 1998-2003 Hallvard B. Furuseth.

Portions Copyright 2008-2009 Gavin Henry.

Portions Copyright 2008-2009 Suretec Systems Ltd.

All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、この通知が保持されている場合のみ許可されます。書面による許可を事前に得ずに、著作者の名前を本ソフトウェアから派生した製品の承認または宣伝に使用してはいけません。本ソフトウェアは、「現状有姿」で提供され、明示的または黙示的な保証を行いません。

Portions Copyright (c) 1992-1996 Regents of the University of Michigan.

All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無に関わらず、以下の条件において許可されます。書面による許可を事前に得ずに、本大学名を本ソフトウェアから派生した製品の承認または宣伝に使用してはいけません。本ソフトウェアは、「現状有姿」で提供され、明示的または黙示的な保証を行いません。

OPENLDAP に関する通知事項は以上。

Apache License Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1 Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the

power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

- 2** Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
- 3** Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
- 4** Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - a** (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - b** (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

- c** (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
- d** (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

- 5** Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
- 6** Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
- 7** Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
- 8** Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
- 9** Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

The MIT License

Copyright (c) 2008 John Resig, <http://jquery.com/>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Log4net 1.2.10

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) により開発されたソフトウェアが含まれています。

書面による許可を事前に得ずに、「log4net」および「Apache Software Foundation」という名称を本ソフトウェアから派生した製品の承認または宣伝に使用してはいけません。書面による許可については、apache@apache.org に問い合わせてください。

LOG4NET に関する通知事項は以上。

NullSoft Scriptable Install System (NSIS) 2.46

Copyright (C) 1995-2009 貢献者

著作権情報の詳細については、個別ソースコードファイルを参照してください。

本ソフトウェアは、「現状有姿」で提供され、明示的または黙示的な保証を伴いません。創始者は、いかなる場合も、本ソフトウェアの使用の結果発生したいかなる損害についても責任を負わないものとします。本ソフトウェアは、商業的適用を含めたいかなる目的であれ使用し、以下の制限事項に従って、改変し無料で再配布することが許可されています。

1. 本ソフトウェアの現物について不当表示があつてはなりません。元のソフトウェアを自分が作成したと申告してはいけません。本ソフトウェアを製品内でご使用になる場合には、製品マニュアルに謝辞を記載いただければ幸いです、必須ではありません。
2. ソースバージョンの変更は別個に明確に示す必要があり、元のソフトウェアであるかのように不当表示してはいけません。
3. ソース配布において、本通知を削除または変更できないものとします。

適用されるライセンス

* 特に注記がなければ圧縮モジュールを除き、すべての NSIS ソースコード、プラグイン、マニュアル、例、ヘッダファイルおよびグラフィックスは、zlib/libpng ライセンスに基づいて使用許諾が付与されています。

* NSIS の zlib 圧縮モジュールは zlib/libpng ライセンスに基づいて使用許諾が付与されています。

* NSIS の bzip2 圧縮モジュールは bzip2 ライセンスに基づいて使用許諾が付与されています。

Copyright (C) 1996-2000 Julian R Seward. All rights reserved.

* NSIS の LZMA 圧縮モジュールは Common Public License バージョン 1.0 に基づいて使用許諾が付与されています。

NSIS に関する通知事項は以上。

NDesk Options 0.2.1

NDESK OPTIONS に関する通知事項は以上。

Ajax Control Toolkit 40412

Copyright (c) 2009, CodePlex Foundation

All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、改変の有無に関わらず、以下の条件において許可されます。

* ソースコードを再配布する場合は、上記の著作権情報、この一連の条件、および以下に示す免責条項を保有しなければなりません。

* バイナリ形式で再配布する場合は、上記の著作権情報、この一連の条件、および以下に示す免責条項を配布物と共に提供される説明書類および(または)その他の資料に複製しなければなりません。

* CodePlex Foundation の名前もその貢献者の名前も、書面による事前の許可なく、本ソフトウェアから派生した製品の承認または宣伝に使用できません。

本ソフトウェアは、著作権所有者およびその貢献者により「現状のまま」提供されるものであり、商業性や特定目的への適合性に対する保証を含み、またそれらに限定せず、いかなる明示的または黙示的な保証も放棄します。本ソフトウェアのすべての使用形態で生じた、すべての直接的、間接的、付随的、特定、懲戒的、または派生的な損害(代替商品またはサービスの調達、使用・データ・利益の喪失、または業務の中断を含み、これに限定されない)に対し、その原因のいかに関わらず、また、推定される責任の所在、契約の記述、厳格責任、または不法行為(過失および故意を含む)のあるなしに関わらず、本ソフトウェアの著作権所有者または貢献者はいかなる責任も負いません。AJAX CONTROL TOOLKIT に関する通知事項は以上。

Apache Commons Net 2.2

Copyright 2001-2010 The Apache Software Foundation

本製品には、Apache Software Foundation(<http://www.apache.org/>)により開発されたソフトウェアが含まれています。

APACHE COMMONS NET に関する通知事項は以上。

Google Java Library Release 08

Copyright 2011 Google

Apache Software Foundation

GOOGLE JAVA LIBRARY に関する通知事項は以上。

Simple Logging Façade for JAVA Version 1.6.1

Copyright (c) 2004-2008 QOS.ch All rights reserved. 本ソフトウェアと関連マニュアルファイル(以下「ソフトウェア」と総称)の取得者に対し、本ソフトウェアのコピーを使用、複製、改変、結合、発行、配布、サブライセンス、および/または売却する権利を含む(ただしこれに限定されない)ソフトウェアを制限なしで取り扱うための許諾、および本ソフトウェアの提供を受けた者にかかる行為を許可する許諾が、以下の条件に従って、無料でここに付与されます。本ソフトウェアのすべてのコピーまたは大部分に、上記の著作権情報および本許諾通知が含まれているものとします。本ソフトウェアは「現状有姿」で提供されます。明示的または黙示的であるかを問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および非侵害性に関する保証を含む(ただしこれに限定されない)いかなる保証も否認されます。いかなる場合も、著作者または著作権所有者は、契約の記述または不法行為の有無を問わず、このソフトウェアに関連したまたはこのソフトウェアの使用その他の用法で発生したいかなる賠償請求、損害、その他の義務に関しても一切責任を負いません。

SIMPLE LOGGING FAÇADE FOR JAVA に関する通知事項は以上。

SNMP Inquisitor

Java SNMP Package, copyright 2005, Jonathan Sevy, Drexel University <jsevy@cs.drexel.edu>

プロジェクトホーム: http://gicl.cs.drexel.edu/people/sevy/snmp/snmp_package.html

本ソフトウェアは、「現状有姿」で提供されるものであり、商業性や特定目的への適合性に対する黙示保証を含み、またそれらに限定せず、明示的または黙示的ないかなる保証も放棄します。本ソフトウェアのすべての使用形態で生じた、すべての直接的、間接的、付随的、特定、懲戒的、または派生的な損害(代替商品またはサービスの調達、使用・データ・利益の喪失、または業務の中断を含み、これに限定されない)に対し、その原因のいかに関わらず、また、推定される責任の所在、契約の記述、厳格責任、または不法行為(過失および故意を含む)のあるなしに関わらず、本ソフトウェアの著作権所有者または貢献者はいかなる責任も負いません。

SNMP INQUISITOR に関する通知事項は以上。

索引

アルファベット

Lexmark 印刷
 概要 4
 Lexmark 印刷管理 SaaS
 アクセス 12
 概要 4
 展開する 6
 Lexmark 印刷管理 SaaS にアクセスする 12
 Lexmark 印刷管理クライアント
 アンインストール 16
 作成する、印刷キュー 14
 設置 13
 Lexmark 印刷リリースクラウド
 設定 6
 Lexmark 管理者
 ロール 19
 Linux
 印刷キューを作成する 10
 プリントドライバをインストールする 10
 LPMC 構成ファイル
 理解 15
 LPMC 設定ファイルについて 15
 LPMC における SSL 証明書の概要 16
 LPMC の SSL 証明書
 理解 16
 Mac
 印刷キューを作成する 9
 プリントドライバをインストールする 9
 Mac ワークステーションの使用時、LPMC に接続できない 29
 Windows
 プリントドライバをインストールする 8

あ行

アンインストールする、Lexmark 印刷管理クライアント 16
 印刷キュー
 作成する (Linux) 10
 作成する (Macintosh) 9
 表示および管理する 18
 印刷ジョブのロードに時間がかかる 29

印刷代理人
 追加 18
 取り外し 18
 インストールする、Lexmark 印刷 11
 インストールする、Lexmark 印刷管理クライアント 13
 エクスポート
 ジョブレポート 24

か行

概要
 Lexmark 印刷 4
 Lexmark 印刷管理 SaaS 4
 ドキュメントアカウンティング 4
 プリントリリース 4
 概要、生成されたジョブレポート 24
 監査ログを生成する 25
 管理者
 ロール 19
 管理する
 印刷キュー 18
 クラウド認証クライアント
 設定 6
 グループ
 修正 21
 追加 21
 取り外し 21
 グループの数量制限 21
 個人用ジョブレポート
 生成 23

さ行

作成
 印刷キュー (Linux) 10
 印刷キュー (Macintosh) 9
 作成する、印刷キュー
 Lexmark 印刷管理クライアント 14
 モバイルデバイス 11
 ジョブ概要
 表示 22
 ジョブがプリントリリースキューに表示されない 28
 ジョブレポート
 エクスポート 24
 複数ユーザー 23

理解 24
 診断テスト
 実行する 26
 数量制限
 グループ 21
 ユーザー 21
 生成する、個人用ジョブレポート 23
 設置
 プリントドライバ (Linux) 10
 プリントドライバ (Mac) 9
 プリントドライバ (Windows) 8
 設定
 Lexmark 印刷リリースクラウド 6
 クラウド認証クライアント 6
 ドキュメントアカウンティング 21
 背景とアイドル画面 6
 プリントリリース 18
 設定、構成する
 ドキュメントアカウンティング 21
 プリントリリース 18
 設定ファイル
 LPMC 15
 ソリューションをインストールできない 28

た行

代理人
 印刷ジョブ 18
 チェックリスト
 展開の準備状況 5
 追加
 印刷キュー 18
 印刷代理人 18
 月次レポート
 生成 24
 月次レポートを生成する 24
 テスト、診断 26
 展開する
 Lexmark 印刷管理 SaaS 6
 展開の準備状況チェックリスト 5
 ドキュメントアカウンティング
 概要 4
 ドキュメントアカウント設定
 設定 21
 取り外し
 印刷代理人 18

は行

ルール、概要 19

背景とアイドル画面

設定 6

パスワード

変更 12

パスワードを変更する 12

表示

印刷キュー 18

ジョブ概要 22

複数ユーザーのジョブレポート

生成 23

複数ユーザーのジョブレポートを生

成する 23

プリントドライバ

インストール(Mac) 9

インストールする、Windows 8

インストールする(Linux) 10

プリントリリース

概要 4

プリントリリース設定

設定 18

ヘルプデスク

ルール 19

ま行

モバイルデバイス

インストールする、Lexmark 印

刷 11

作成する、印刷キュー 11

問題に対処する

Mac ワークステーションの使用

時、LPMC に接続できない 29

アプリケーションをインストールで

きない 28

印刷ジョブのロードに時間がかか

る 29

ジョブがプリントリリースキューに

表示されない 28

や行

ユーザー

追加 26

ルール 19

ユーザーの数量制限

設定 21

ユーザーを追加する 26

ら行

ログ監査

生成 25